

新潟県給付型奨学金を希望する皆さんへ

知っておいてほしいポイント

- 1 この給付型奨学金は、税金を財源として、意欲と能力があるにもかかわらず、経済的事情により進学が困難となっている高校生等の大学進学を後押しできるよう、**返還義務のない奨学金を交付**するものです。
- 2 奨学金の交付開始後も、学業不振等の場合には、交付を打ち切ることがあります。また、学業成績が著しく不振の場合や奨学生として相応しくない行為があった場合には、交付済みの奨学金について返還していただくことがあります。
- 3 申込みの窓口は、在籍（もしくは卒業した）高等学校等です。給付奨学生候補の採否結果も、当該高等学校等を通じてご連絡いたします。
- 4 対象は、**平成30年度に大学への入学を希望する人**になります。

給付金額

給付月額は以下のとおりです。

進学先	国公立大学		私立大学	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
給付額	2万円	3万円	3万円	4万円

申込資格と基準

高校卒業予定者もしくは高校卒業後2年以内の大学進学を希望する人のうち、以下の要件を満たす人

※ただし、日本学生支援機構の給付型奨学金との併用はできません。
また、過去に大学に入学したことがある場合、申込はできません。

- 保護者が新潟県内に在住していること
- 家計状況が以下のいずれかに該当すること
 - ①住民税所得割非課税世帯
 - ②生活保護受給世帯
 - ③家計急変世帯
(保護者の死亡、失職、病気等により、大学進学時は家計基準の①か②に該当することが見込まれる世帯)
- 学業成績等の状況が以下のいずれかに該当すること(申込年度の仮評定を含む)
 - ・全体の評定平均値が4.3以上
 - ・全体の評定平均値が概ね3.5以上で教科以外の学校活動等で優れた成果が認められること

申込手順等と提出書類

書類提出期限の確認

学業成績の確認

- 高校卒業予定の方 : 担任の先生を通じて評定平均値を確認
- 卒業後2年以内の方 : 卒業した高校から成績証明書の発行等を受けて、評定平均値を確認

書類の準備・提出

以下の書類を整えて、県教育委員会に直接提出してください。

- ① 給付型奨学金申込書
- ② 家計基準に関する書類
 - ・住民税所得割非課税世帯
市町村が発行する平成29年度の課税証明書など、家計支持者の所得割額が0円であることを確認できる書類（家計支持者：父母。父母がいないときは代わって家計を支える者）
 - ・生活保護世帯
市町村が発行する生活保護受給証明書（直近3か月以内に発行されたもの）
 - ・家計急変世帯に該当すると思われる場合は、事前に申込先の高校へ相談してください。

※ 同時に募集している2次募集と両方に申し込むこともできます。

県教育委員会で審査・決定

県教育委員会から、採否結果を連絡（1回目：3月中旬、2回目：4月中旬）

大学入学 → 在学証明書等の提出・確認 → 奨学金の給付開始

提出先・問い合わせ先

〒950-8570（住所の記載は不要です。）
新潟県教育庁高等学校教育課審査調整係
（担当：風間、川端 TEL025-280-5609）

書類の提出締切は

1回目：3月 2日
2回目：3月30日

正午必着です。

給付型奨学金申込書

【記入例】

新潟県教育委員会 様

私は、県給付型奨学金の交付を受けるにあたり、案内に記載の内容を確認し、裏面記載事項について同意の上、本申込書を提出します。

私は、奨学金の交付を受けている間、毎年度、適格性の審査があり、その審査により、成績不振が著しい場合や性行不良が認められた場合においては、奨学金の交付が停止又は廃止され、成績不振や性行不良の程度によっては、前回の審査以降に交付された奨学金を返還しなければならないことを承知しています。また、適格性の審査は経済状況等についても行われ、家計基準を満たさなくなった場合は奨学金の交付が一定期間停止又は廃止される場合があることも承知しています。

平成 30 年 1 月 9 日

本人	フリガナ ニガタ タロウ	性別	本人住所 〒950-8570
	氏名 新潟 太郎 (新潟)	男	新潟市中央区新光町4番地1 タウンハウス新光1
	平成 13 年 7 月 10 日生 (満 18 歳)		電話番号 025 (111) 0000 携帯電話番号 090 (4455) XXXX
	平成 30 年 3 月 (県) 立 () 学校 卒業 ・ 卒業見込		

家計状況	(該当する項目の口部にレを記入してください) 提出書類(該当する項目の口部にレを記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 住民税所得割非課税世帯 <input type="checkbox"/> 生活保護受給世帯 <input type="checkbox"/> 家計急変世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村民税所得割の金額が記載された証明書 <input type="checkbox"/> 生活保護受給証明書 <input type="checkbox"/> 家計急変状況申立書 ※高等学校等に確認の上、家計急変の状況を証する書類を添付してください。

自己推薦文	【進学したい理由、将来の夢などについて】
	私は、小学校の理科実験をきっかけに、将来は、実験を行う職に就きたいと思っていました。高校に進進後、授業や部活動をとおして化学分野の奥深さを知り、将来は、有機化学に関する研究職に就き、新素材の開発に携わりたいと考えています。この夢を実現するために大学への進学を志望しています。
	【教科以外の学校活動等の成果、高校生活をとおして努力したことなどについて】
	私は、高校では化学部に所属し、実験技術の向上等に努めた結果、県化学インターハイで総合優勝することができました。また、小学生を対象とした理科教室にボランティアとして参加し、子どもたちに化学のおもしろさを伝えることを目指して継続的に活動しています。

本人が未成年(20歳未満)の場合、以下も必ず記入してください

親権者又は未成年後見人	氏名 新潟 一郎 (新潟)	生年月日 (昭和) ・ 平成 45 年 12 月 8 日	本人との続柄 父
	住所 新潟市中央区新光町4番地1 タウンハウス新光1		電話 自宅 025 - 111 - 0000 携帯 090 - 6677 - XXXX
	氏名 新潟 花子 (新潟)	生年月日 (昭和) ・ 平成 46 年 6 月 8 日	本人との続柄 母
	住所 新潟市中央区新光町4番地1 タウンハウス新光1		電話 自宅 025 - 111 - 0000 携帯 090 - 8899 - XXXX

※親権者(親権者とは民法で定める親権者のことで、両親がいる場合は2人とも)が、上記本人の奨学金申込に同意の上、下記に自署・押印してください。親権者がいない場合は、民法で定める未成年後見人が自署・押印してください。

給付型奨学金申込書

新潟県教育委員会 様

私は、県給付型奨学金の交付を受けるにあたり、案内に記載の内容を確認し、裏面記載事項について同意の上、本申込書を提出します。

私は、奨学金の交付を受けている間、毎年度、適格性の審査があり、その審査により、成績不振が著しい場合や性行不良が認められた場合においては、奨学金の交付が停止又は廃止され、成績不振や性行不良の程度によっては、前回の審査以降に交付された奨学金を返還しなければならないことを承知しています。また、適格性の審査は経済状況等についても行われ、家計基準を満たさなくなった場合は奨学金の交付が一定期間停止又は廃止される場合があることも承知しています。

平成 年 月 日

本人	フリガナ	性別	本人住所 〒	—
	氏名 (印)			
	平成 年 月 日 生 (満 歳)		電話番号 ()	携帯電話番号 ()
	平成 年 月 () 立 ()) 学校 卒業 ・ 卒業見込	

家計状況	(該当する項目の□部にレを記入してください)	提出書類(該当する項目の□部にレを記入してください)
	<input type="checkbox"/> 住民税所得割非課税世帯	<input type="checkbox"/> 市町村民税所得割の金額が記載された証明書
	<input type="checkbox"/> 生活保護受給世帯	<input type="checkbox"/> 生活保護受給証明書
	<input type="checkbox"/> 家計急変世帯	<input type="checkbox"/> 家計急変状況申立書 ※高等学校等に確認の上、家計急変の状況を証する書類を添付してください。

自己推薦文	【進学したい理由、将来の夢などについて】
	----- -----
	【教科以外の学校活動等の成果、高校生活をとおして努力したことなどについて】
	----- -----

本人が未成年(20歳未満)の場合、以下も必ず記入してください

親権者又は未成年後見人	氏名 (印)	生年月日 昭和・平成 年 月 日	本人との続柄	
	住所		電話	自宅 — — 携帯 — —
	氏名 (印)	生年月日 昭和・平成 年 月 日	本人との続柄	
	住所		電話	自宅 — — 携帯 — —

※親権者(親権者とは民法で定める親権者のことで、両親がいる場合は2人とも)が、上記本人の奨学金申込に同意の上、下記に自署・押印してください。親権者がいない場合は、民法で定める未成年後見人が自署・押印してください。

1 給付型奨学金の交付に係る事項

【給付型奨学金の交付期間】

(1) 給付型奨学金の交付の始期は県教育委員会が採用を決定したときとし、交付の終期は給付奨学生（以下「奨学生」という。）の在学する学校の修業年限の終期とします。ただし、交付の始期は当該年度の4月までを限度として在籍する大学に入学した月まで遡ることができます。

【誓約書】

(2) 奨学金給付採用候補者は、大学入学後、県教育委員会が定める期限までに親権者又は未成年後見人（本人が未成年者の場合）と連署、押印した誓約書を提出する必要があります。

(3) 県教育委員会が定める期限までに誓約書を提出しない場合には、奨学金給付採用候補者としての資格を失います。

【振込】

(4) 奨学金は、以下の指定金融機関のいずれかに開設された本人名義の預金口座に振り込まれます。

- ・全国各本支店：第四銀行、北越銀行、大光銀行、秋田銀行、きらやか銀行、東邦銀行、八十二銀行、北陸銀行、富山第一銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、りそな銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、ゆうちょ銀行
- ・新潟県内本支店：信用金庫、信用組合、農業協同組合、商工組合中央金庫、労働金庫、新潟県信用農業協同組合連合会、新潟県信用漁業協同組合連合会

(5) 奨学金は、複数月をまとめて交付します。

【月額の変更】

(6) 採用時、自宅外通学の給付月額を受けていた者が自宅通学に変わった場合は、速やかに「給付月額変更届」の提出が必要です。この届出を怠ると奨学金の交付が廃止されることがあります。また、自宅通学の給付月額を受けていた者が、自宅外通学に変わり給付月額の変更を届け出る場合、自宅外通学を証明する書類を提出する必要があります。

【奨学金交付中の手続等】

(7) 奨学生は、県教育委員会あてに毎年度「給付型奨学金継続申請書」を提出し、継続交付の適格認定を受けなければなりません（最終学年においては「給付型奨学金継続申請書」を提出することなく、当年度の給付奨学生としての適格性について認定を受けなければなりません）。

(8) 奨学生は、県教育委員会の指定する期間内に「在籍報告」を行わなければなりません。

(9) 奨学生は、次の場合、速やかに県教育委員会に届出をしなければなりません。

- ア 休学、復学、転学、留学又は退学したとき。
- イ 本人の連絡先の氏名・住所その他重要な事項に変更があったとき。
- ウ 奨学金を辞退するとき。

(10) 奨学生が死亡したとき、相続人は速やかに県教育委員会に届け出なければなりません。

(11) 県教育委員会は、適格認定に基づき、奨学生としての適格性が認められると判断した場合、次年度の奨学金の交付が予定されているときはその継続を決定します。

(12) 県教育委員会は、適格認定に基づき、奨学生が次の事由に該当するものと認められるときは、奨学金の交付を停止又は廃止します。また、奨学金の交付が廃止となった事由の内容、程度によっては、それまでに交付した奨学金のうち前回の適格認定以降交付した奨学金について返還を求めることがあります。

- ア 休学したとき又は長期にわたって欠席したとき。
- イ 傷病などのために修学の見込みがないとき。
- ウ 学業成績が著しく不振又は品行が不良となったとき。
- エ 県教育委員会が求める諸手続（在籍確認、住所変更届等）を怠る等、奨学生として適当でないとき。
- オ 家計支持者が住民税非課税でない状態が継続したとき、住民税課税額が一定額を超えたとき又はこれらに相当すると認められたとき。
- カ 「給付型奨学金継続申請書」を提出しなかったとき。
- キ その他、特別の事情により奨学生としての資格を失ったとき。

(13) 奨学金の申込時に記載すべき事項を、故意に記載せず、又は虚偽の記載をしたこと等により不正に奨学生となったことが判明したときは、交付済み奨学金の全額又は一部を指定された期日までに返還するものとします。

(14) 奨学生は、いつでも奨学金の辞退を申し出ることができます。

(15) 奨学金の交付を休止又は停止された場合、その事由がなくなり、願い出たときは、奨学金の交付を復活することがあります。

(16) 奨学生本人と連絡がとれなくなった場合には、親権者又は未成年後見人に本人の連絡先情報を求めることがあります。

2 交付済み奨学金の返還に係る事項等

【奨学金の返還】

(1) 適格認定等により奨学金の廃止及び奨学金の返還が決定した場合、奨学生は県教育委員会が通知するところにより、奨学金を返還しなければならないものとします。

【その他手続等】

(2) 本人の連絡先について、住所・氏名・電話番号等に変更があったときは、速やかに所定の様式で県教育委員会に届け出なければなりません。また、県教育委員会が本人から最後に届出のあった氏名・住所に発送した通知又は通知書類が延着又は到着しなかった場合、通常到着すべき時に到着したものとします。

3 採用されなかった場合等の給付型奨学金申込書の取扱いに係る事項

申込後採用されなかった場合、採用取消になった場合又は申込後辞退した場合には、この給付型奨学金申込書は無効となります。なお、その場合、給付型奨学金申込書等は返却いたしません。学校又は県教育委員会が責任をもって廃棄いたします。